

ボクのワタシの 学校自慢

Vol.3
鹿浜第一小学校編(3)

『ボクのワタシの学校自慢』では、鹿浜地域学習センター近隣小・中学校の学校自慢をご紹介します。今日は、鹿浜第一小学校の魅力を紹介し、創立60周年を迎える学校の歴史を振り返ります。

在校児童の皆さんに学校の自慢を聞きました！

鹿浜第一小学校の魅力をご紹介！

緑豊かなビオトープ

ビオトープには、四季折々の草花や昆虫、魚など、様々な生き物が生息し、野鳥が池の水を飲みに訪れることがあるそうです。生活科や理科の生き物観察などで利用されています。



▲入口に建つ子鹿園の像



▲ビオトープ

学校で育て、収穫する鹿一米

学校内にある田んぼでは、5年生が総合の授業で田植えから稲刈り、脱穀までの米作り体験を行っています。なかには苗づくりや田起こしから自分たちで行う年もあるそうです。



▲田植えをする児童



▲収穫された鹿一米の稲穂

学年同士の交流が盛ん

年に3回、異なる学年同士で交流する「ペア学年遊び週間」は児童から人気です。上級学年の生徒がリーダーになり「だるまさんが転んだ」や鬼ごっこ、球技などを各班で楽しめます。



▲ペア学年遊びを楽しむ児童



▲上級学年が遊びをリード

生徒主体のクラブ活動

鹿浜第一小学校では、発起人の人数が揃い、条件を満たせばクラブを設立することができます。これにより、今年は鉄道クラブが復活し、ユニークなおにぎりクラブが誕生しました。



▲クラブのオリエンテーション



▲鉄道クラブの活動の様子

創立60周年を迎える鹿浜第一小学校の歴史

鹿浜第一小学校のはじまり

鹿浜第一小学校は鹿浜小学校の分校として始まり、1966年（昭和41年）に独立しました。創立当初は学校の周辺に田園が広がり、西側には用水路が流れっていました。

独立した初年度は12学級、児童数が383名でスタートしました。この年、児童による記念パレードが行われ、地域全体で開校をお祝いしたそうです。

校歌の歌詞や校章の図案は先生方が考案

開校に際し、校歌は初代 平岡孝一校長が作詞し、校章は鹿浜小学校のものを参考に五色桜と鹿の角を組み合わせた図案を図工の先生がデザインしました。学校の発展を願い、心を込めて作られたこれらは大切に鹿浜第一小学校で受け継がれています。

11月に開校60周年記念式典を開催

鹿浜第一小学校では、11月に開校60周年記念式典が開催されます。式典には歴代PTA役員や、地域の方々、過去10年に勤務されていた先生などが参加します。また、9月には代表委員会による開校記念日集会が開催され、在校児童や先生方で学校の歩みを振り返り、創立記念日を祝うことでした。

先生からのコメント

今回、鹿浜第一小学校に在籍している先生方の中で最も勤続年数が長い中嶋二朗先生に話を伺うことができました。中嶋先生は、2016年にこの学校に赴任されたそうです。「この学校の児童は、素直で先生方を信頼していて話をよく聞く子ばかり。これは赴任して以来変わらない印象です。卒業後も学校を訪れてくれる子が多く、学校に愛着を持ってくれているのだなと感じます」と話されていました。

足立区立鹿浜第一小学校紹介

<スローガン> あたりまえのことをあたりまえにやりぬく

<児童像>

- 基礎的な知識・技能を習得し、活用する力を高め、確かな学力を身に付ける。
- 他人を思いやる気持ちを大切にして、豊かな人間関係を築く。
- たくましく生きるために健康で確かな体力を養う。



▲開校当時の校舎

出典：『鹿浜第一小学校創立50周年記念誌』より掲載



▲創立50周年時の記念誌



▲校章



▲中嶋二朗先生



▲鹿浜第一小学校外観